

# 練馬区の地域福祉を推進するための アンケート報告書（抜粋）

## 調査概要

### 1 調査目的

本調査は、平成 32 年度からの新たな「練馬区地域福祉計画」の策定にあたり、練馬区で地域活動を実践している団体及び個人の意見を把握し、計画の参考とすることを目的に実施しました。

### 2 実施概要

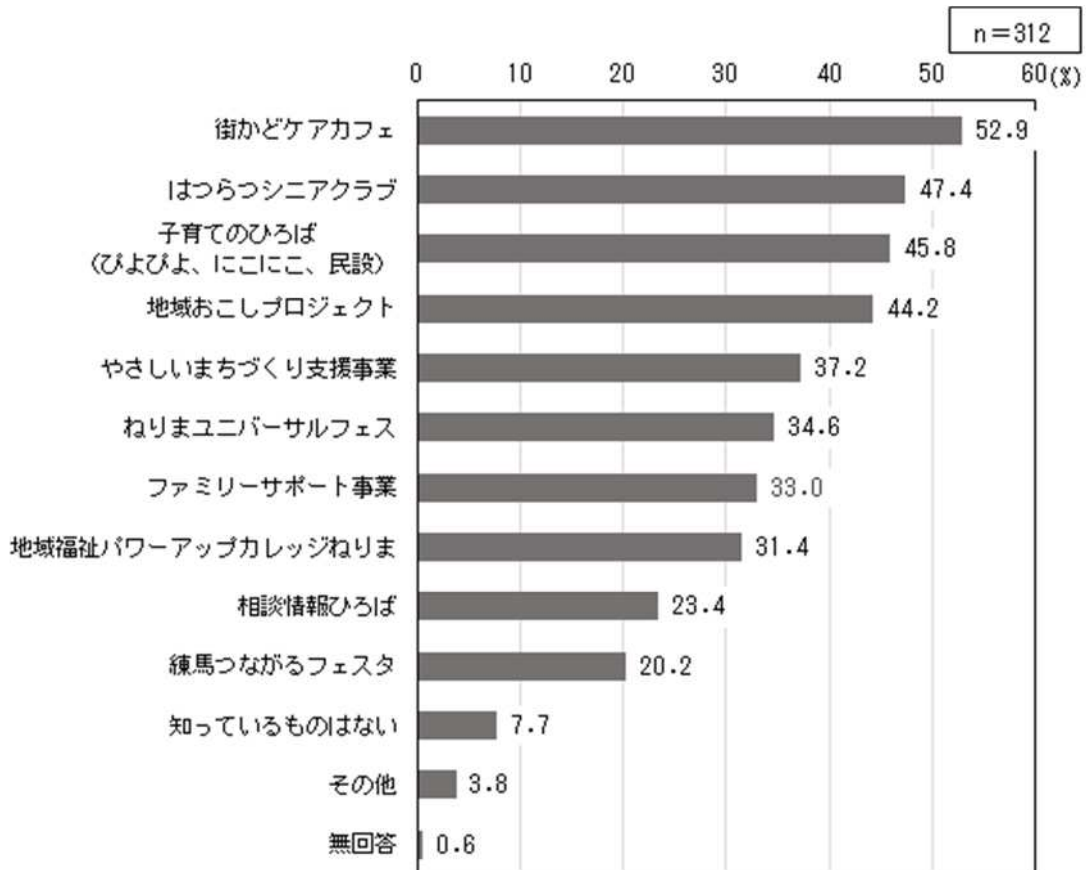
目的	練馬区での地域福祉活動上の課題、意見を把握する
調査対象及び配付数	地域福祉活動を行う団体の代表者等 476 団体 地域福祉活動を行う個人 792 人
調査期間	平成 30 年 11 月 8 日～11 月 30 日
調査方法	調査票の郵送及び手渡しによる配付、郵送回収
回答数（回答率）	団体 312 団体（65.5%） 個人 399 人（50.4%）

## 調査結果（団体）

### 2 地域福祉に関する質問

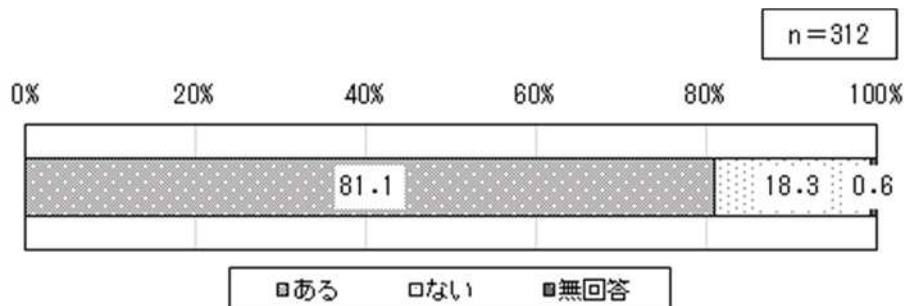
問5 区が独自に実施し、区民参加で進めているつぎの事業のうち、知っているものはありますか。  
（あてはまるものすべてに ）

区民参加で進めている区の独自事業の認知度は、「街かどケアカフェ」52.9%が最も高く、次いで「はつらつシニアクラブ」47.4%、「子育てのひろば」45.8%と続きます。



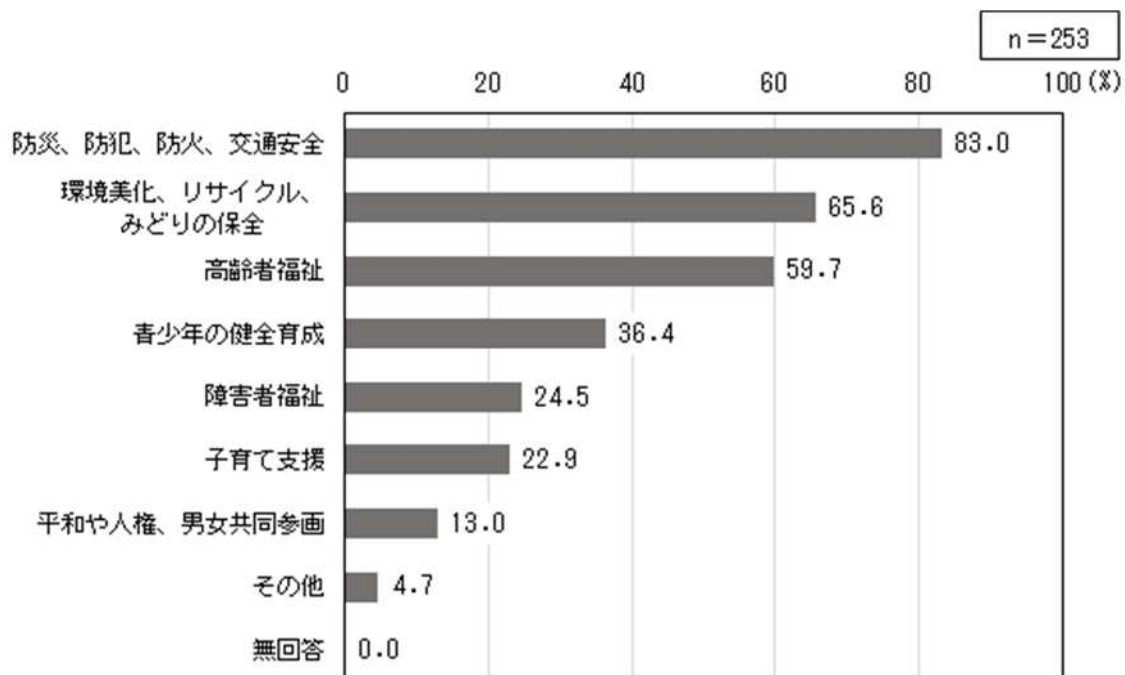
問6 地域福祉活動に参加したことがありますか。（ は1つ）

地域福祉活動への参加経験については、「ある」が81.1%、「ない」が18.3%となっています。



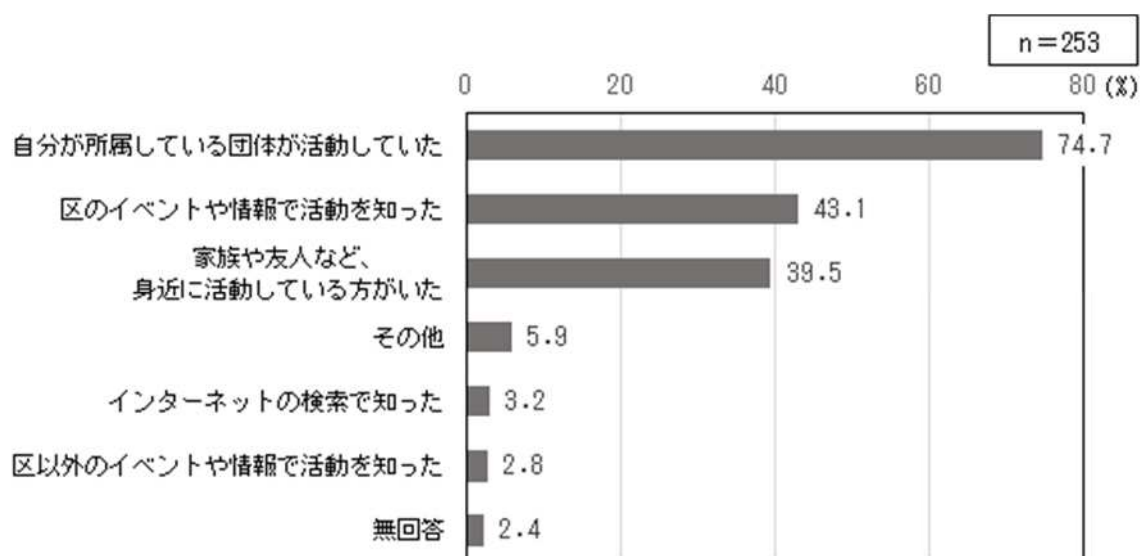
問 6-1【問 6 で「1 ある」と答えた方のみ回答】それは、どのような活動分野ですか。(あてはまるものすべてに )

参加経験のある団体の地域福祉活動分野は、「防災、防犯、防火、交通安全」83.0%が最も高く、次いで「環境美化、リサイクル、みどりの保全」65.6%、「高齢者福祉」59.7%と続きます。



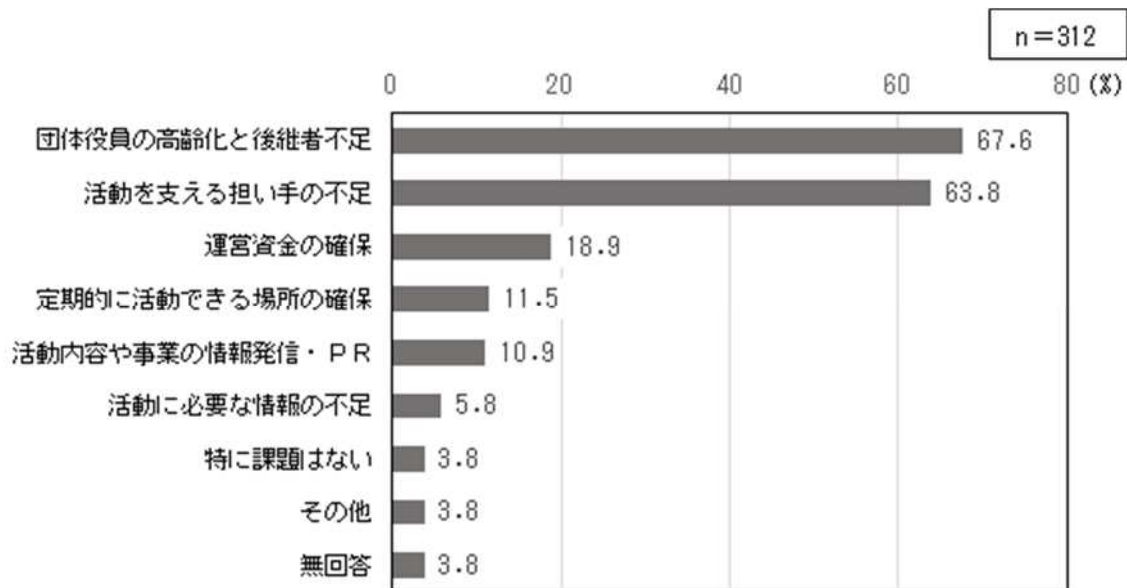
問 6-2【問 6 で「1 ある」と答えた方のみ回答】活動を始めたきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに )

参加経験のある団体が地域福祉活動を始めたきっかけは、「自分が所属している団体が活動していた」の74.7%が最も高く、次いで「区のイベントや情報で活動を知った」43.1%、「家族や友人など、身近に活動している方がいた」39.5%と続きます。



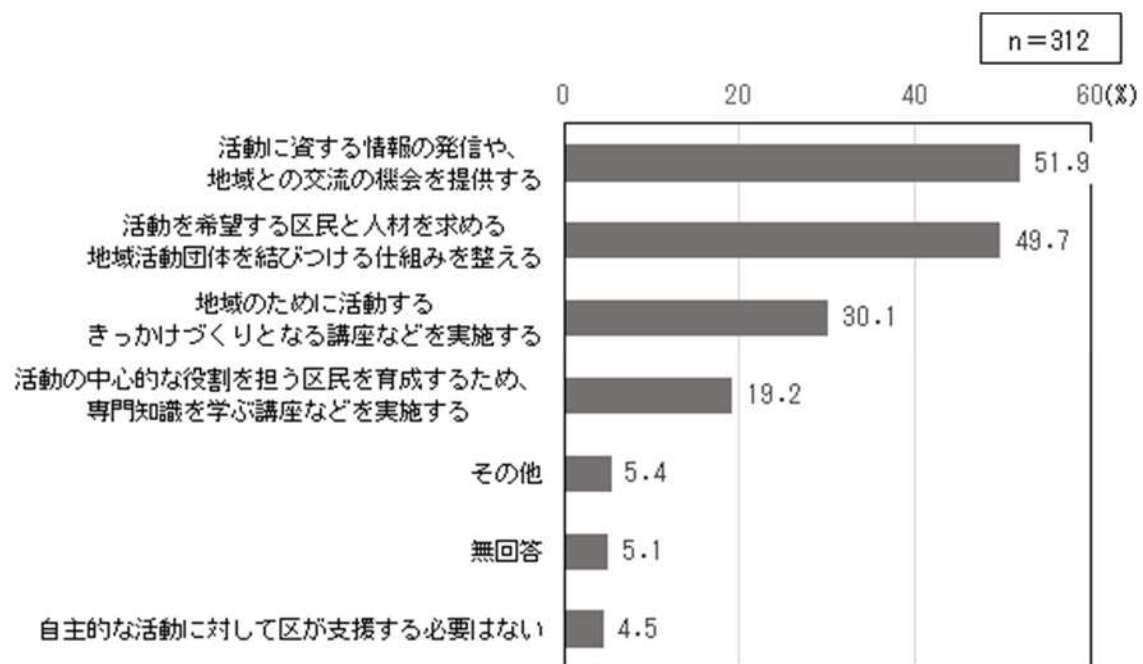
問7 貴団体が地域福祉活動を行う上で、どのような課題がありますか。( は2つまで)

各団体の地域福祉活動を行う上での課題は、「団体役員の高齢化と後継者不足」が67.6%と最も高く、次いで「活動を支える担い手の不足」63.8%、「運営資金の確保」18.9%と続きます。



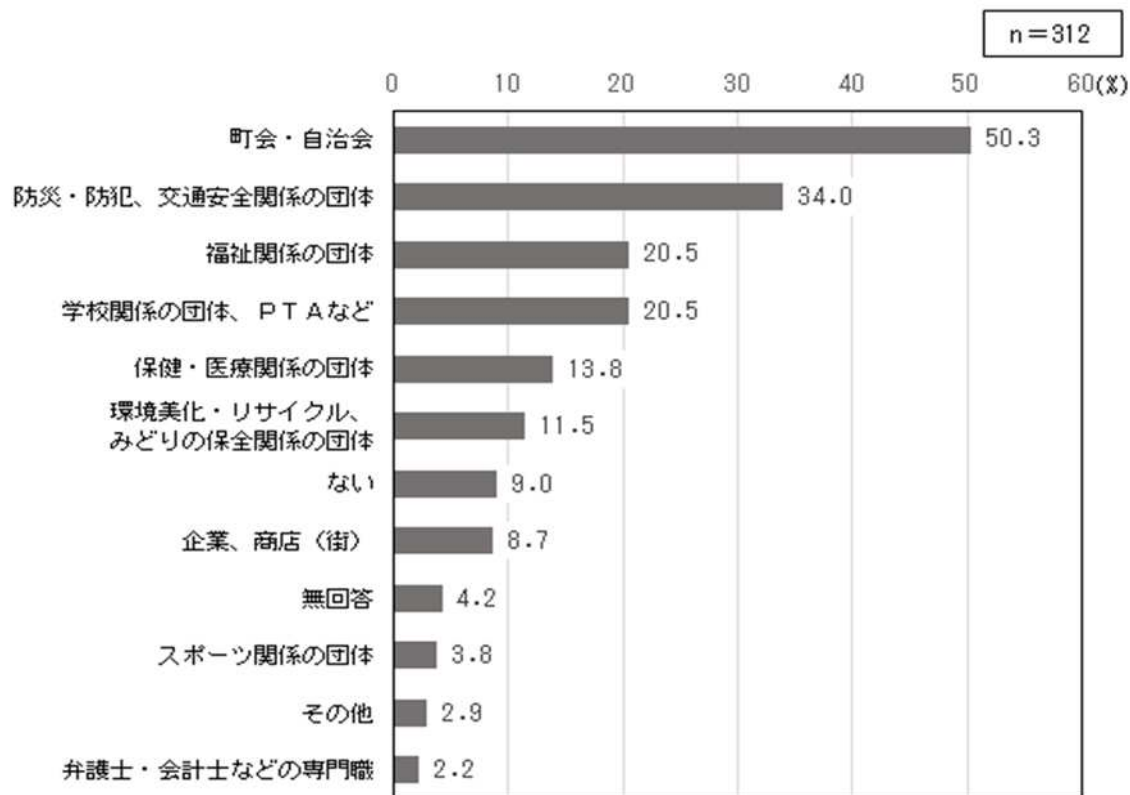
問8 地域のために自ら活動しようとする区民(個人)を支援するために、区はどのような取組を進めるべきだと思いますか。( は2つまで)

区民の主体的な地域活動を支援する区の取組については、「活動に資する情報の発信や、地域との交流の機会を提供する」51.9%が最も高く、次いで「活動を希望する区民と人材を求める地域活動団体を結びつける仕組みを整える」49.7%が続きます。



問9 現在の活動をする上で、協力や連携をしたい団体や組織はありますか。( は2つまで)

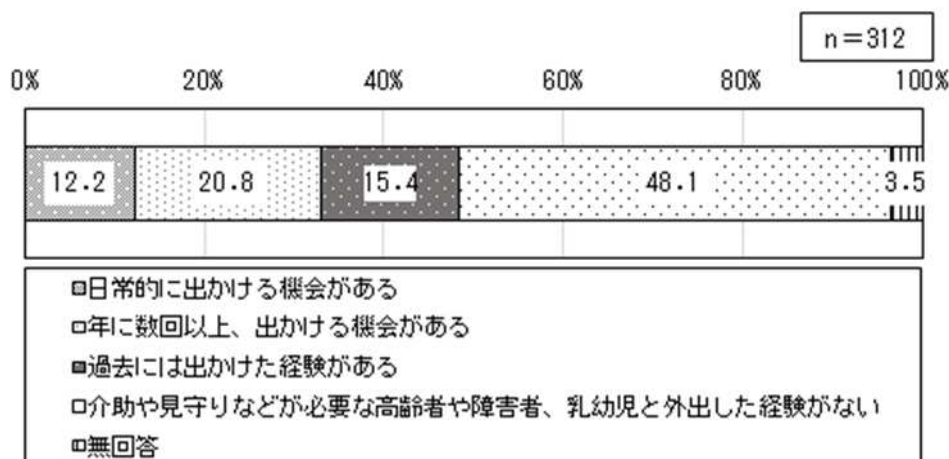
活動をする上で協力や連携をしたい団体や組織は、「町会・自治会」50.3%が最も高く、次いで「防災・防犯、交通安全関係の団体」34.0%、「福祉関係の団体」、「学校関係の団体、PTAなど」20.5%と続きます。



### 3 福祉のまちづくりについて

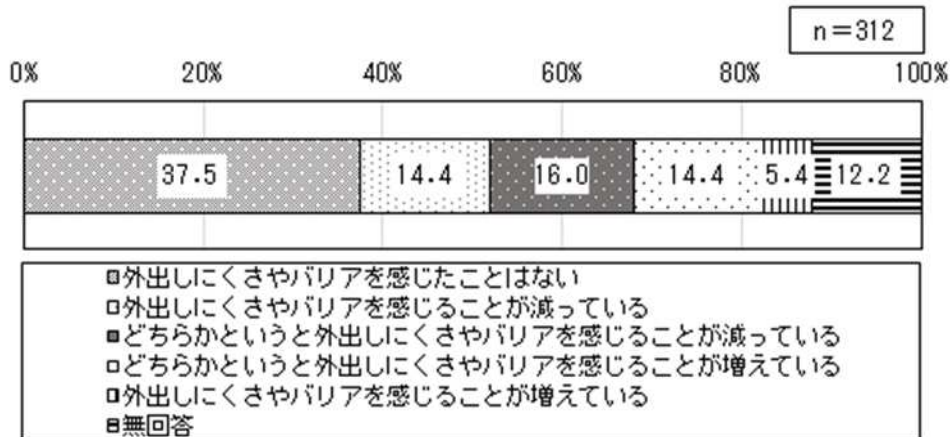
問11 貴団体の活動では、日頃から、介助や見守りなどが必要な高齢者や障害者、乳幼児と一緒に外出する機会がありますか。( は1つ)

各団体の介助や見守りなどが必要な高齢者や障害者、乳幼児と一緒に外出する機会については、「介助や見守りなどが必要な高齢者や障害者、乳幼児と外出した経験がない」48.1%が最も高く、次いで「年に数回以上、出かける機会がある」20.8%、「過去には出かけた経験がある」15.4%と続きます。



問 12 建物や駅、道路などの環境面の制約（バリア）が原因で外出しにくさを感じることはありますか。以前と比べて、どのような変化を感じますか。（ は1つ）

各団体の環境面の制約（バリア）が原因で外出しにくさを感じることについては、「外出しにくさやバリアを感じたことはない」37.5%が最も高く、次いで「どちらかというと外出しにくさやバリアを感じる事が減っている」16.0%、「外出しにくさやバリアを感じる事が減っている」と「どちらかというと外出しにくさやバリアを感じる事が増えている」14.4%と続きます。

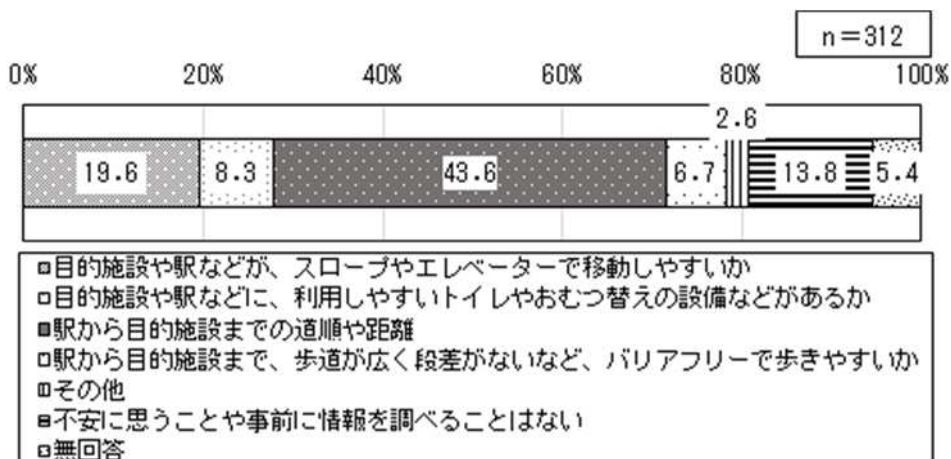


問 12-1 【問 12 で「2、3、4、5」のいずれかを選んだ方のみ回答】具体的にどのようなときに外出しにくさを感じますか。（自由記述）

主に「駅・施設」、「道路・段差」、「交通手段」等に関する問題点や課題が挙がっています。（下記に全文掲載）

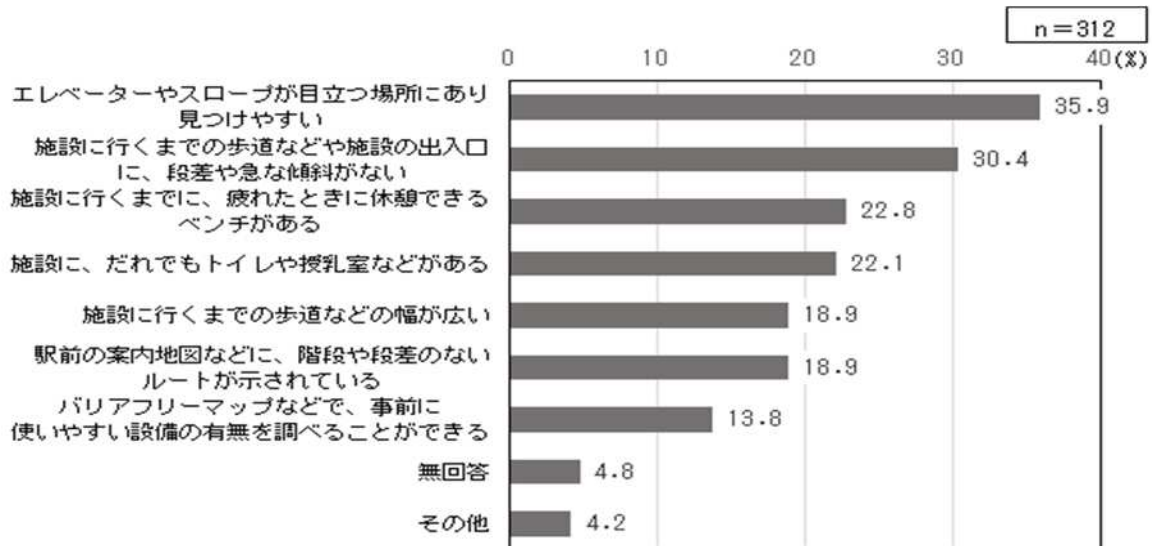
問 13 初めての場所に出かけるときに、出かける前に最も不安に感じることや、事前に必ず調べておきたいと思うことは何ですか。（ は1つ）

出かける前に最も不安に感じることや、事前に調べておきたいと思うことは、「駅から目的施設までの道順や距離」43.6%が最も高く、次いで「目的施設や駅などが、スロープやエレベーターで移動しやすいか」19.6%、「不安に思うことや事前に情報を調べることはない」13.8%と続きます。



問 14 区役所や文化ホールなどの公共施設に用事や活動のために出かけるときに、どのような設備や案内があれば、より安心して出かけられると思いますか。( は2つまで)

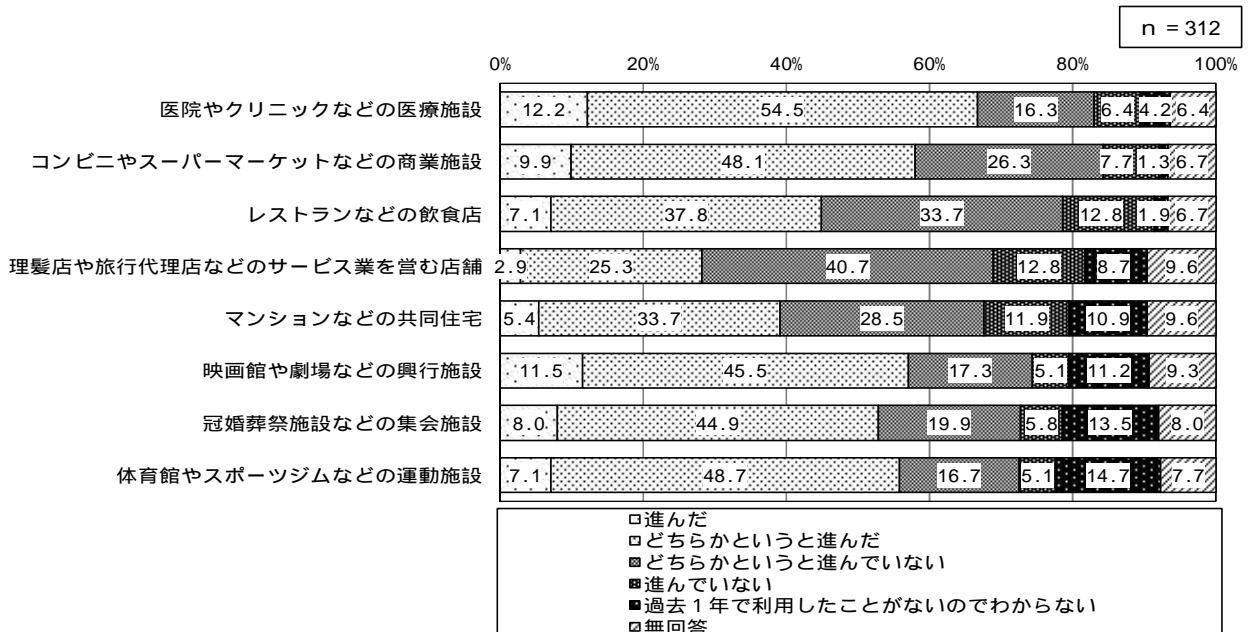
より安心して出かけられる公共施設になるために期待する設備や案内については、「エレベーターやスロープが目立つ場所にあり、見つけやすい」35.9%が最も高く、次いで「施設に行くまでの歩道などや施設の出入口に、段差や急な傾斜がない」30.4%、「施設に行くまでに、疲れたときに休憩できるベンチがある」22.8%と続きます。



問 15 練馬区内の中規模・小規模の建物は、以前と比べて、高齢者や障害者、乳幼児を連れた方などにとって利用しやすいバリアフリー整備が進んだと感じますか。建物の種類ごとにお答えください。(各項目 は1つ)

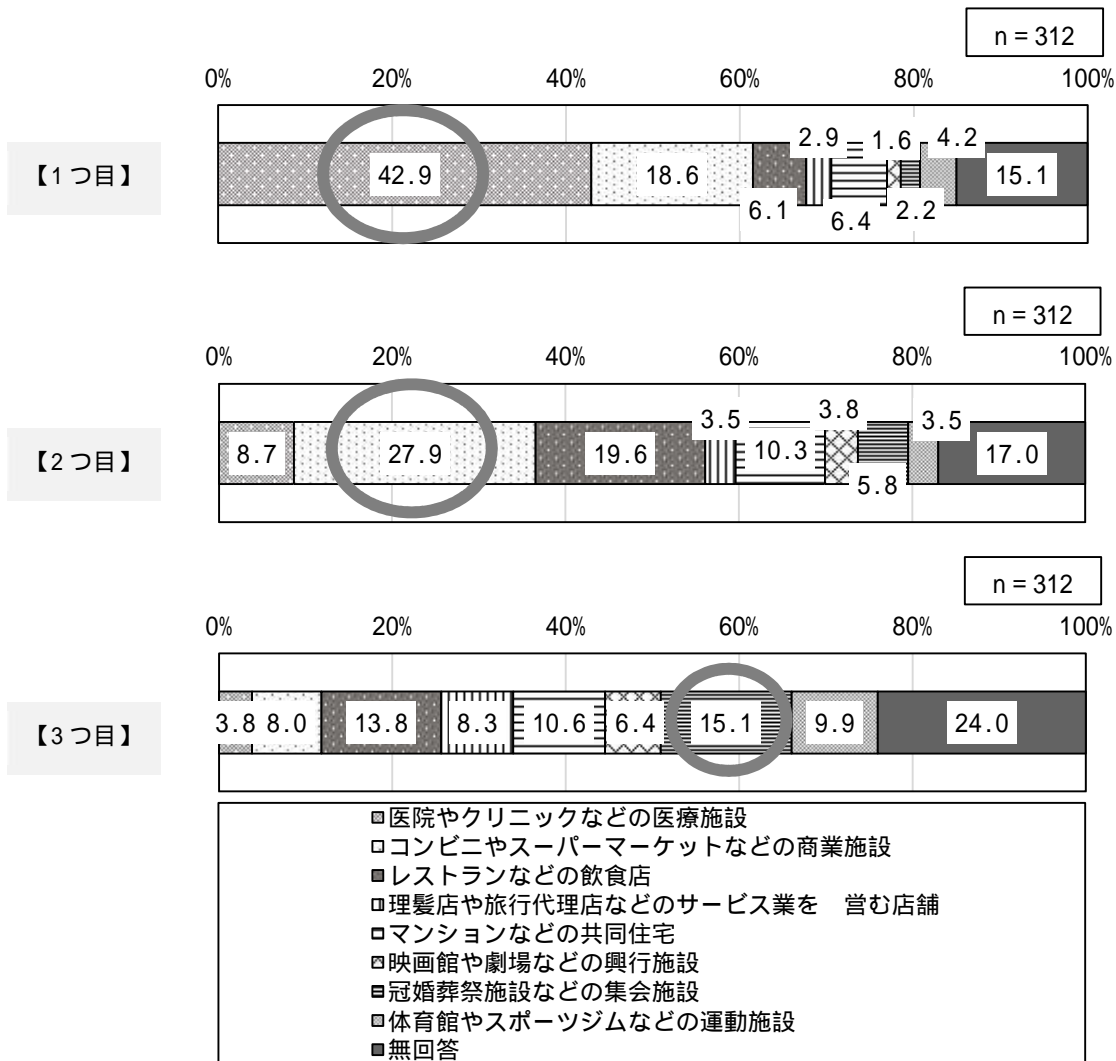
高齢者や障害者、乳幼児を連れた方などにとって利用しやすいバリアフリー整備が進んだと感じる練馬区内の中規模・小規模の建物について、『進んだ意識』(進んだ+どちらかというに進んだ)は「医院やクリニックなどの医療施設」が66.7%と最も高く、次いで「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」58.0%、「映画館や劇場などの興行施設」57.0%と続きます。

一方、『進んでいない意識』(進んでいない+どちらかというに進んでいない)は「理髪店や旅行代理店などの店舗」が53.5%と最も高く、次いで「レストランなどの飲食店」46.5%と続きます。



問 16 今後、段差の解消や手すりの設置、車いすやベビーカーで使いやすいトイレの設置などのバリアフリー化について、重点的に取り組むべきと思う区内の建物の種類を問 15 の 1～8 の項目の中から番号でお答えください。(3 つまで)

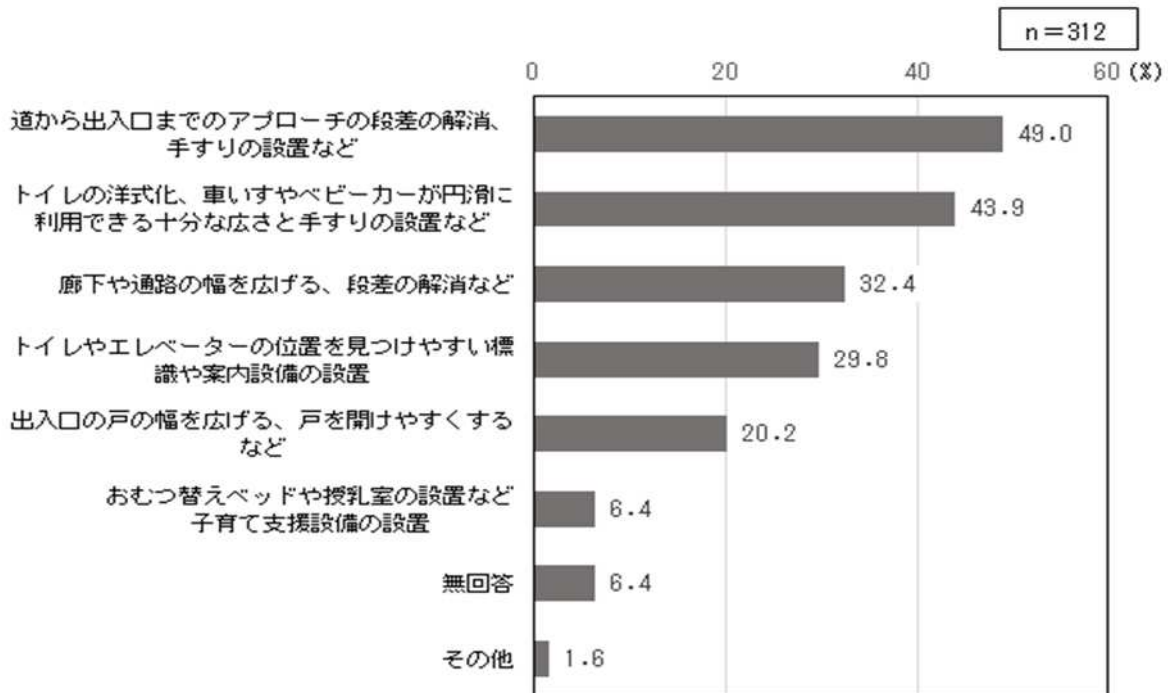
バリアフリー化に重点的に取り組むべきと思う区内の建物の種類について、1 つ目は 42.9% の「医院やクリニックなどの医療施設」、2 つ目は 27.9% 「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」、3 つ目は 15.1% の「冠婚葬祭施設などの集会施設」がそれぞれ最も高くなっています(無回答以外の項目)。





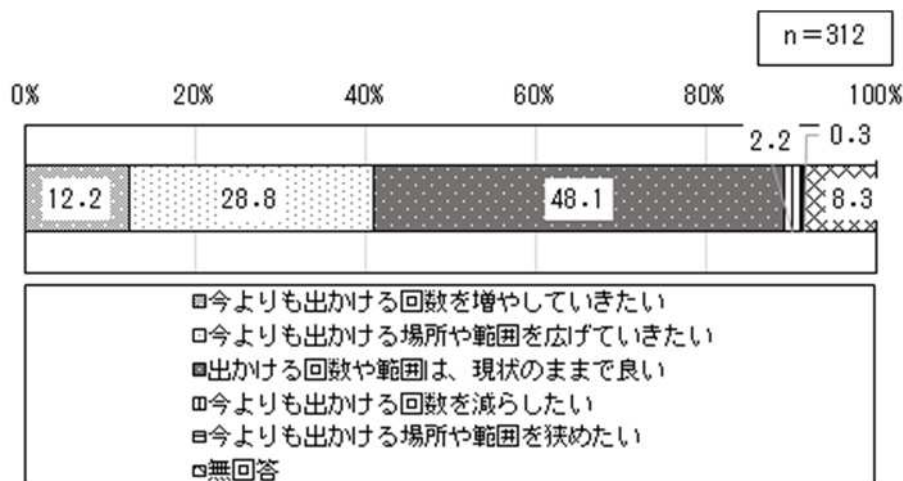
問 17 新しく大規模な建物に比べて、比較的小規模な既存の建物のバリアフリー化はなかなか進んでいません。高齢者、障害者、乳幼児を連れの方がより気軽に外出できるようにするために、既存の店舗などでは、どのような改善を優先的に進めるべきかと思いますか。下の図と写真を参考にお答えください。( は2つまで)

既存の店舗などで優先的にバリアフリー化を進めるべきことについては、「道から出入口までのアプローチの段差の解消、手すりの設置など」49.0%が最も高く、次いで「トイレの洋式化、車いすやベビーカーが円滑に利用できる十分な広さと手すりの設置など」43.9%、「廊下や通路の幅を広げる、段差の解消など」32.4%と続きます。



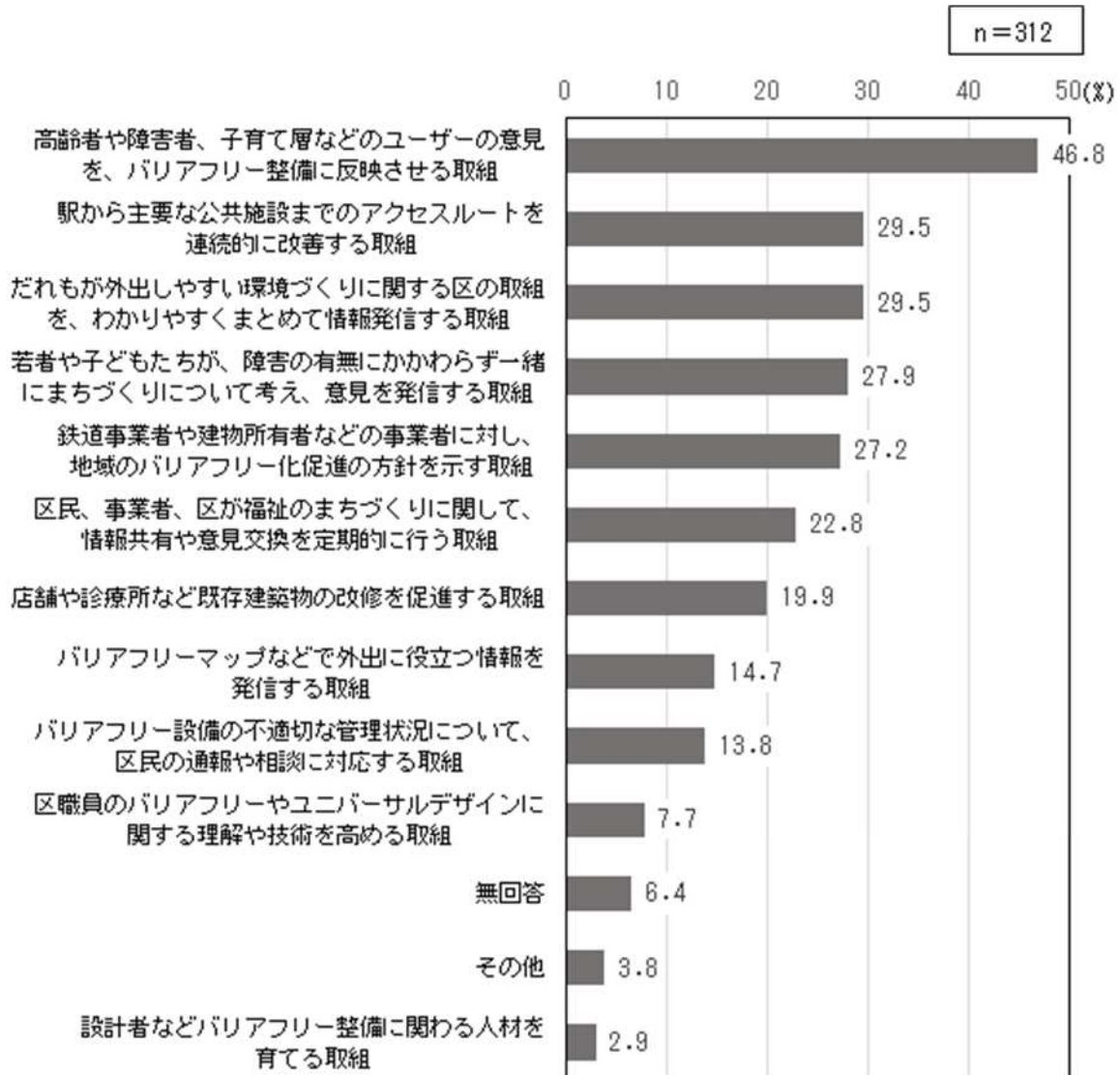
問 18 貴団体の活動における今後の外出の回数や行動範囲について、考えに近いものを選んでください。( は1つ)

各団体の活動における今後の外出の回数や行動範囲は、「出かける回数や範囲は、現状のままで良い」48.1%が最も高く、次いで「今よりも出かける場所や範囲を広げていきたい」28.8%、「今よりも出かける回数を増やしていきたい」12.2%と続きます。



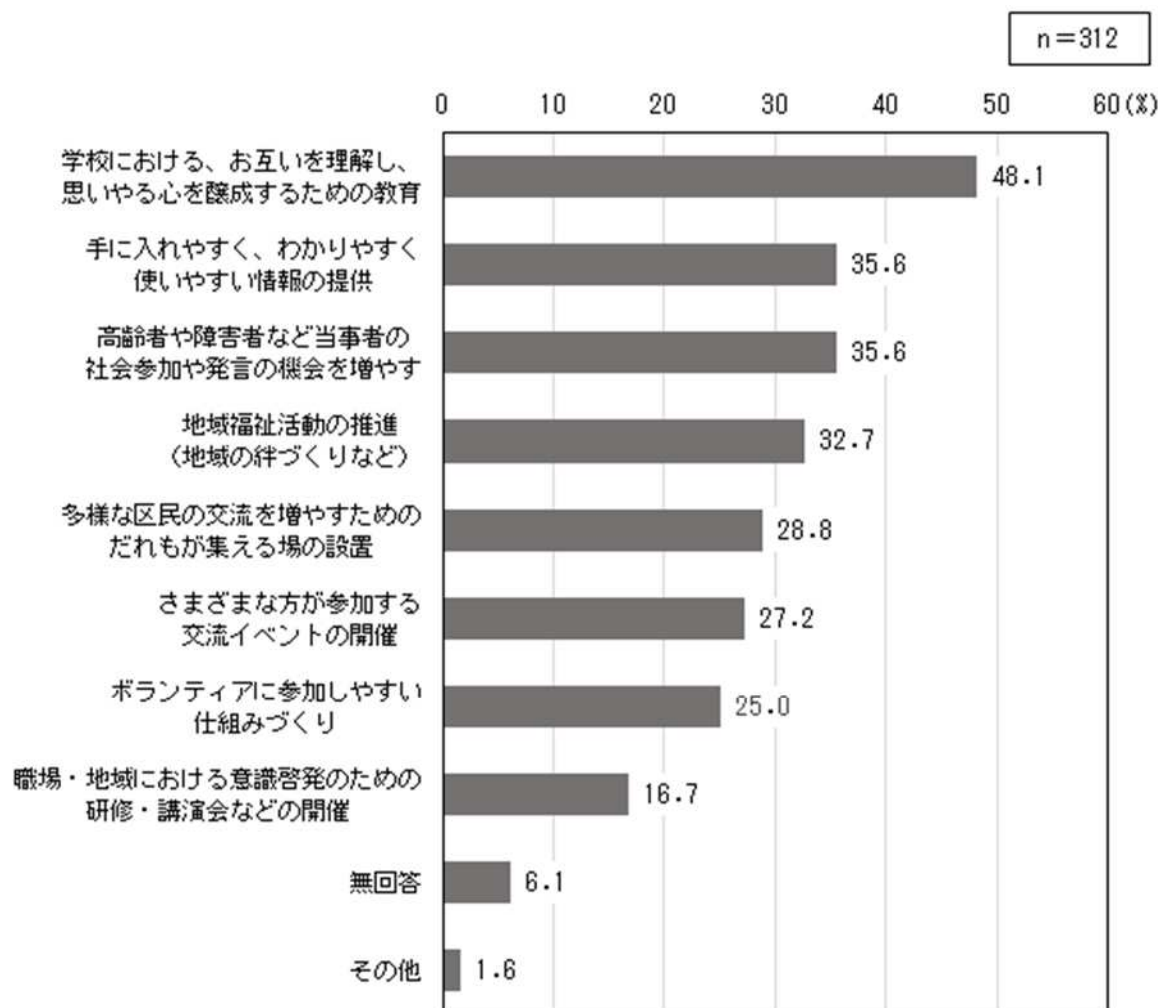
問 19 今後、練馬区内でだれもが外出しやすい環境づくりを進めていくためには、区はどのような取組を優先的に進めていくことが重要だと思いますか。( は3つまで)

だれもが外出しやすい環境づくりで重要な区の実施は、「高齢者や障害者、子育て層などのユーザーの意見を、バリアフリー整備に反映させる取組」が46.8%と最も高く、次いで「駅から主要な公共施設までのアクセスルートを連続的に改善する取組」と「だれもが外出しやすい環境づくりに関する区の実施を、わかりやすくまとめて情報発信する取組」29.5%、「若者や子どもたちが、障害の有無にかかわらず一緒にまちづくりについて考え、意見を発信する取組」27.9%と続きます。



問 20 ソフト面における福祉のまちづくりを推進するためにはどのような取組が必要だと思いますか。  
 ( は3つまで)

福祉のまちづくりを推進するために必要なソフト面の取組は、「学校における、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育」48.1%が最も高く、次いで「手に入れやすく、わかりやすく使いやすい情報の提供」と「高齢者や障害者など当事者の社会参加や発言の機会を増やす」35.6%、「地域福祉活動の推進（地域の絆づくりなど）」32.7%と続きます。



問 21 練馬区における地域福祉や福祉のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。(自由記述)

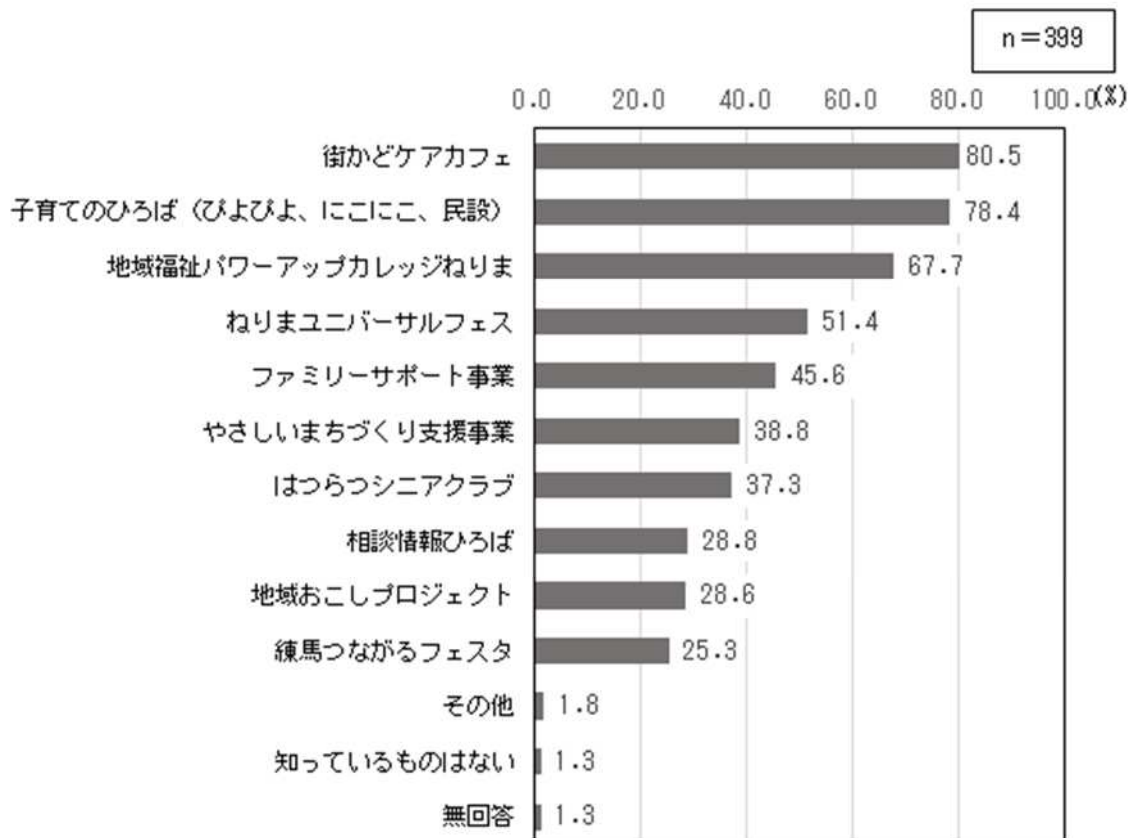
主に「施設・建物」、「道路・交通」、「心・教育」、「区の実施」、「地域活動」、「環境」等に関する意見が挙がっています。(省略)

## 調査結果（個人）

### 2 地域福祉に関する質問

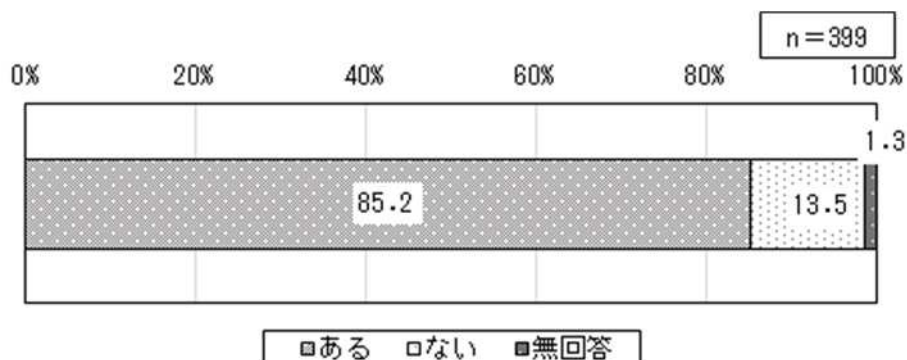
問4 あなたは、区が独自に実施し、区民参加で進めているつぎの事業のうち、知っているものはありますか。（あてはまるものすべてに ）

区民参加で進めている区の独自事業の認知度は、「街かどケアカフェ」80.5%が最も高く、次いで「子育てのひろば」が78.4%、「地域福祉パワーアップカレッジねりま」が67.7%と続きます。



問5 地域福祉活動に参加したことがありますか。（ は1つ）

地域福祉活動への参加経験については、「ある」が85.2%、「ない」が13.5%となっています。



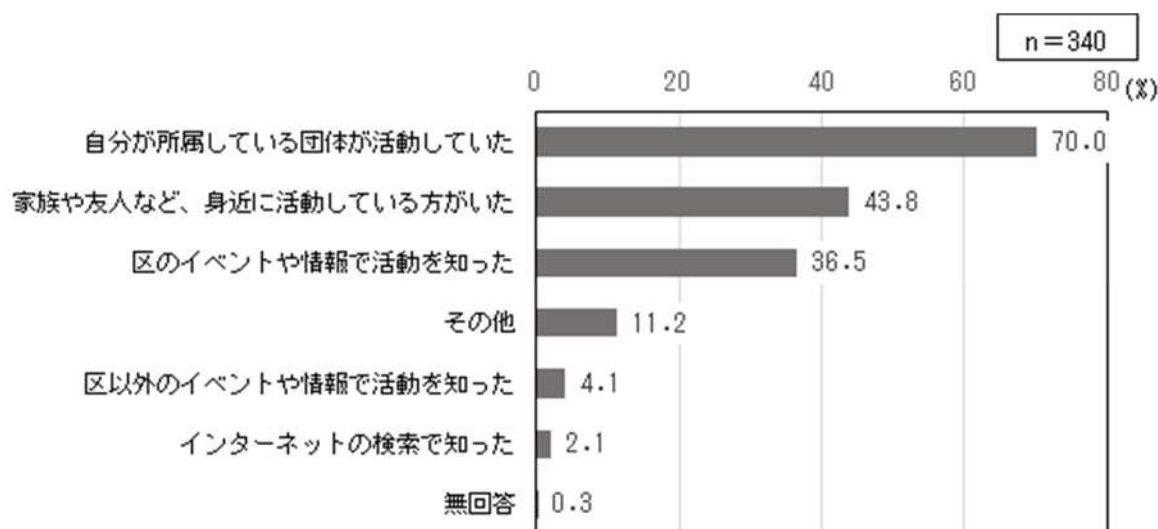
問 5-1 【問 5 で「1 ある」と答えた方のみ回答】それは、どのような活動分野ですか。(あてはまるものすべてに )

参加経験のある人の地域福祉活動分野は、「防災、防犯、防火、交通安全」70.0%が最も高く、次いで「高齢者福祉」が 55.3%、「青少年の健全育成」38.2%、「子育て支援」36.2%と続きます。



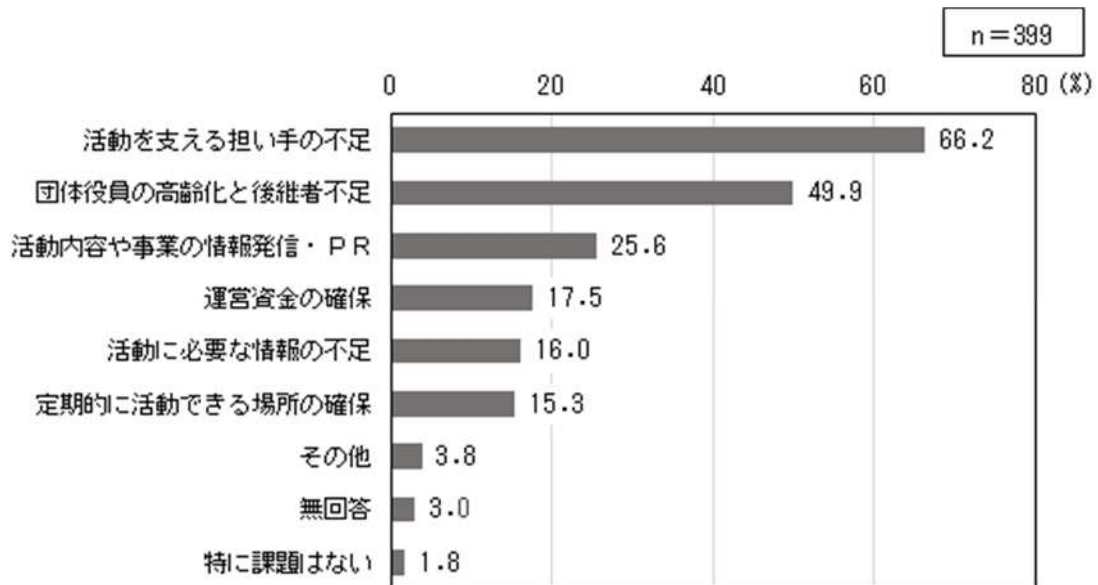
問 5-2 【問 5 で「1 ある」と答えた方のみ回答】活動を始めたきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに )

参加経験のある人が地域福祉活動を始めたきっかけは、「自分が所属している団体が活動していた」70.0%が最も高く、次いで「家族や友人など、身近に活動している方がいた」43.8%、「区のイベントや情報で活動を知った」36.5%と続きます。



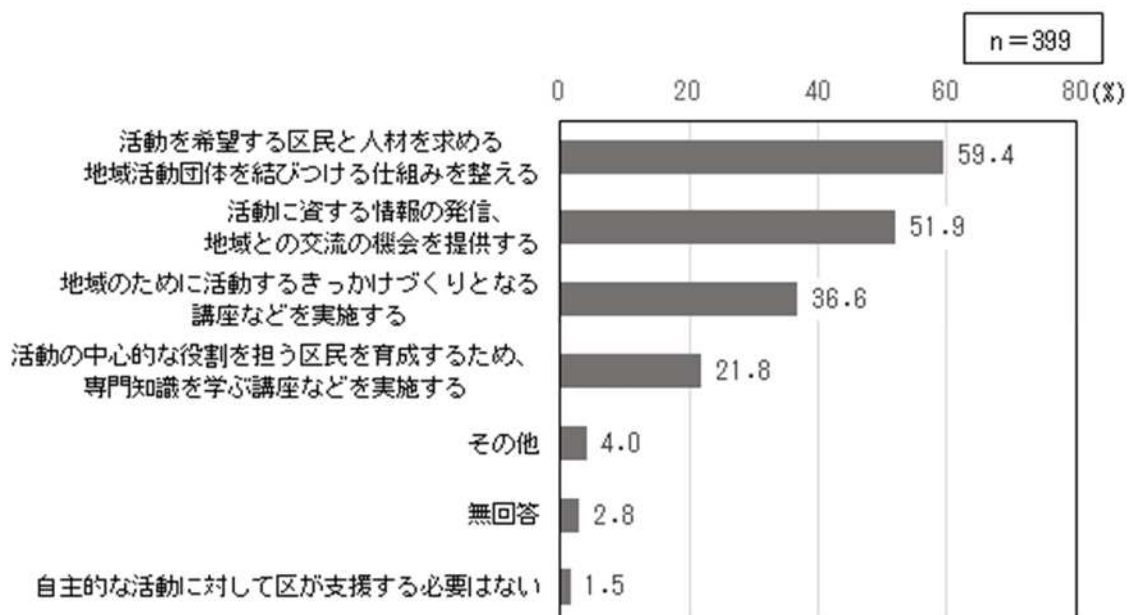
問6 地域福祉活動団体が活動を行う上でどのような課題があると思いますか。( は2つまで)

地域福祉活動団体が活動を行う上で課題と思うことについては、「活動を支える担い手の不足」66.2%が最も高く、次いで「団体役員の高齢化と後継者不足」49.9%、「活動内容や事業の情報発信・PR」25.6%と続きます。



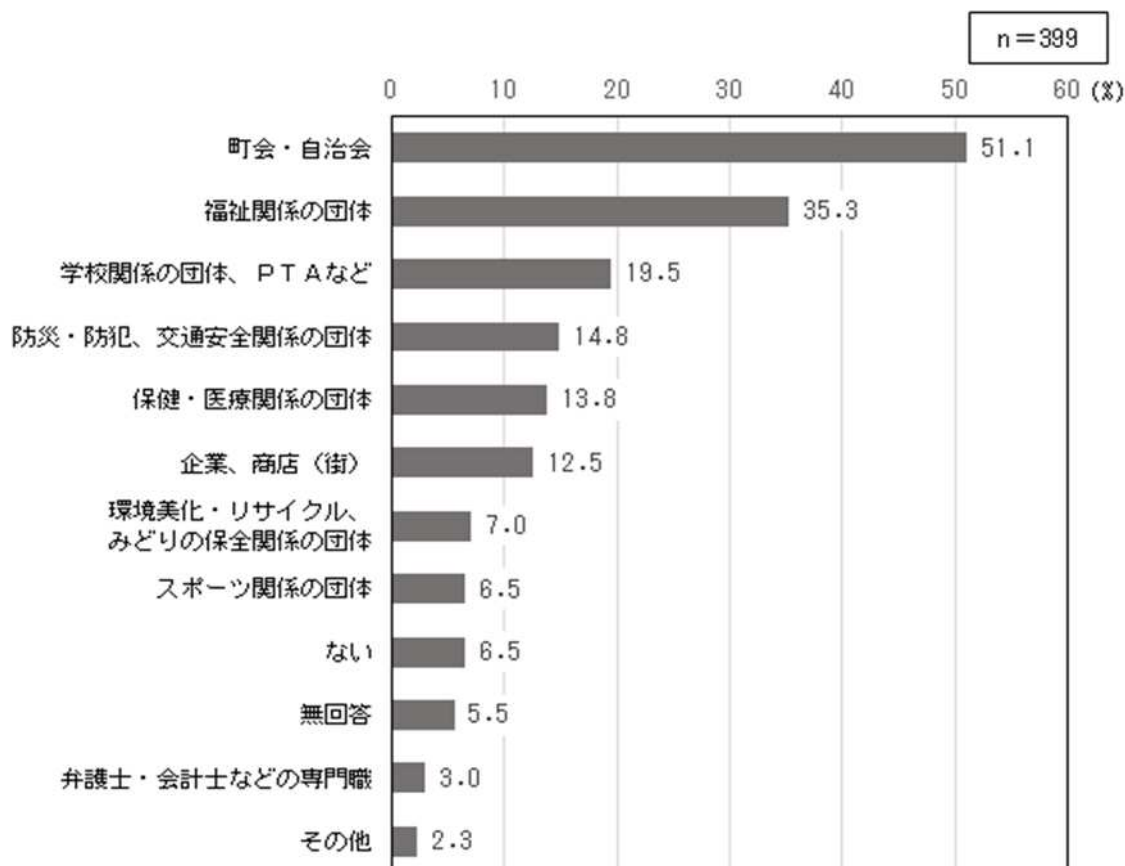
問7 地域のために自ら活動しようとする区民(個人)を支援するために、区はどのような取組を進めるべきだと思いますか。( は2つまで)

区民の主体的な地域活動を支援する区取組については、「活動を希望する区民と人材を求める地域活動団体を結びつける仕組みを整える」59.4%が最も高く、次いで「活動に資する情報の発信、地域との交流の機会を提供する」51.9%と続きます。



問8 現在の活動をする上で、協力や連携をしたい団体や組織はありますか。( は2つまで)

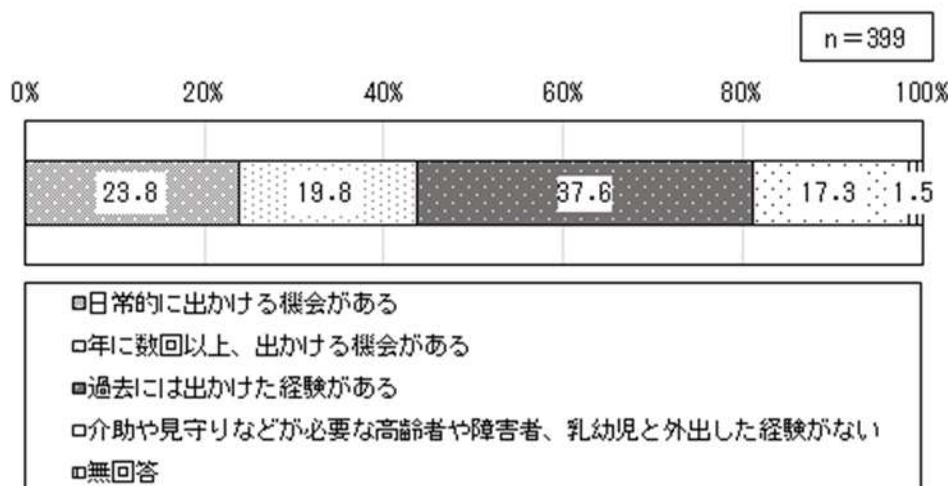
活動をする上で協力や連携をしたい団体や組織は、「町会・自治会」51.1%が最も高く、次いで「福祉関係の団体」35.3%、「学校関係の団体、PTAなど」19.5%と続きます。



### 3 福祉のまちづくりについて

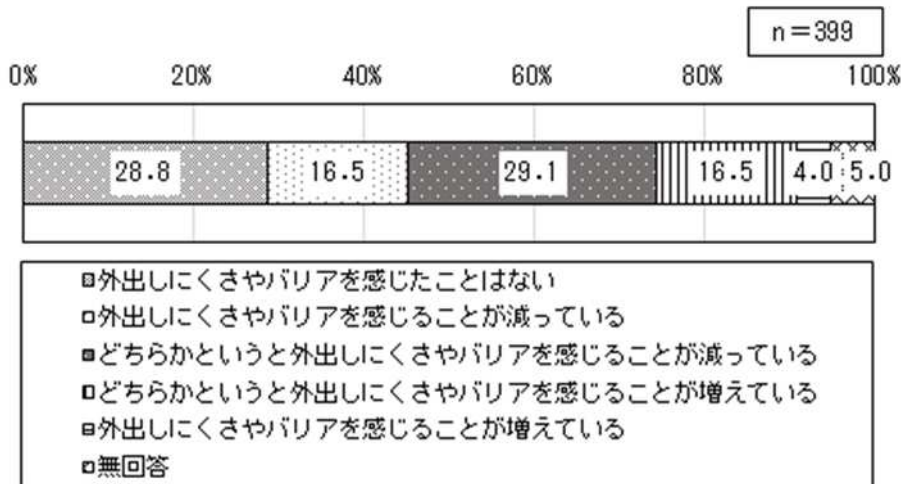
問9 日頃から、介助や見守りなどが必要な高齢者や障害者、乳幼児と一緒に外出する機会がありますか。( は1つ)

介助や見守りなどが必要な高齢者や障害者、乳幼児と一緒に外出する機会の有無については、「過去には出かけた経験がある」37.6%が最も高く、次いで「日常的に出かける機会がある」23.8%、「年に数回以上、出かける機会がある」19.8%と続きます。



問 10 建物や駅、道路などの環境面の制約（バリア）が原因で外出しにくさを感じることはありますか。以前と比べて、どのような変化を感じますか。（ は1つ）

建物や駅、道路などの環境面が原因で外出しにくさを感じることは、「どちらかという外出しにくさやバリアを感じる事が減っている」29.1%が最も高く、次いで「外出しにくさやバリアを感じたことはない」28.8%、「外出しにくさやバリアを感じる事が減っている」と「どちらかという外出しにくさやバリアを感じる事が減っている」16.5%と続きます。

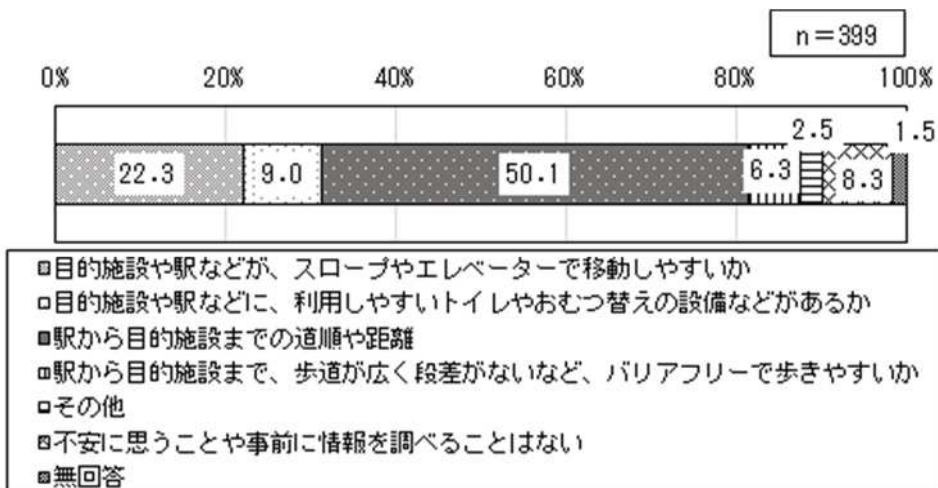


問 10-1 【問 10 で「2、3、4、5」のいずれかを選んだ方のみ回答】具体的にどのようなときに外出しにくさを感じますか。（自由記述）

主に「駅・施設」、「道路・段差」、「交通手段」、「自転車・迷惑行為」等に関する問題点や課題が挙がっています。（省略）

問 11 初めての場所に出かけるときに、出かける前に最も不安に感じることや、事前に必ず調べておきたいと思うことは何ですか。（ は1つ）

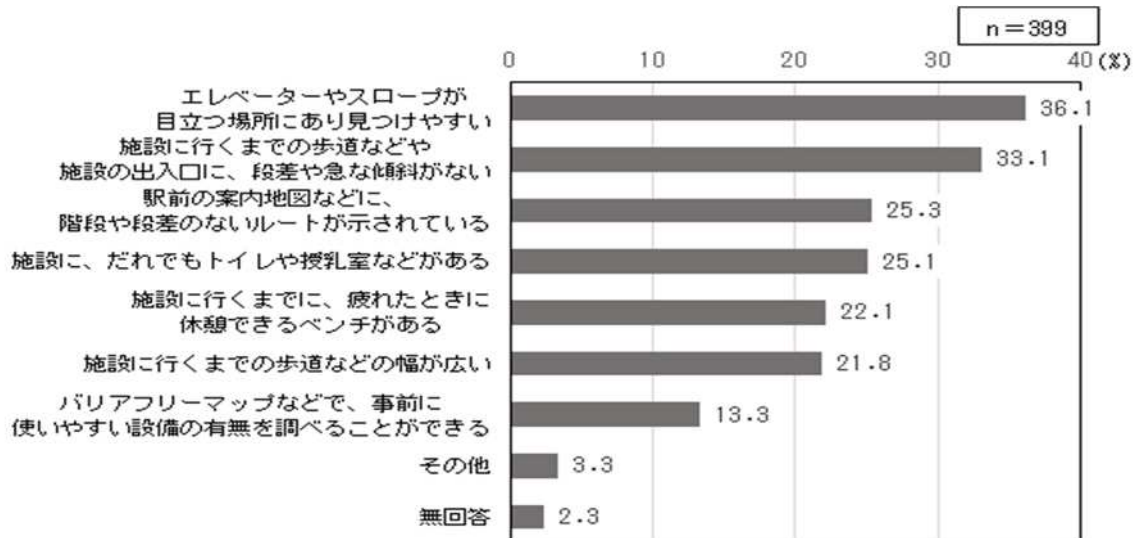
外出前に最も不安に感じること、事前に必ず調べることは、「駅から目的施設までの道順や距離」50.1%が最も高く、次いで「目的施設や駅などが、スロープやエレベーターで移動しやすいか」22.3%が続きます。





問 12 区役所や文化ホールなどの公共施設に用事や活動のために出かけるときに、どのような設備や案内があれば、より安心して出かけられると思いますか。( は2つまで)

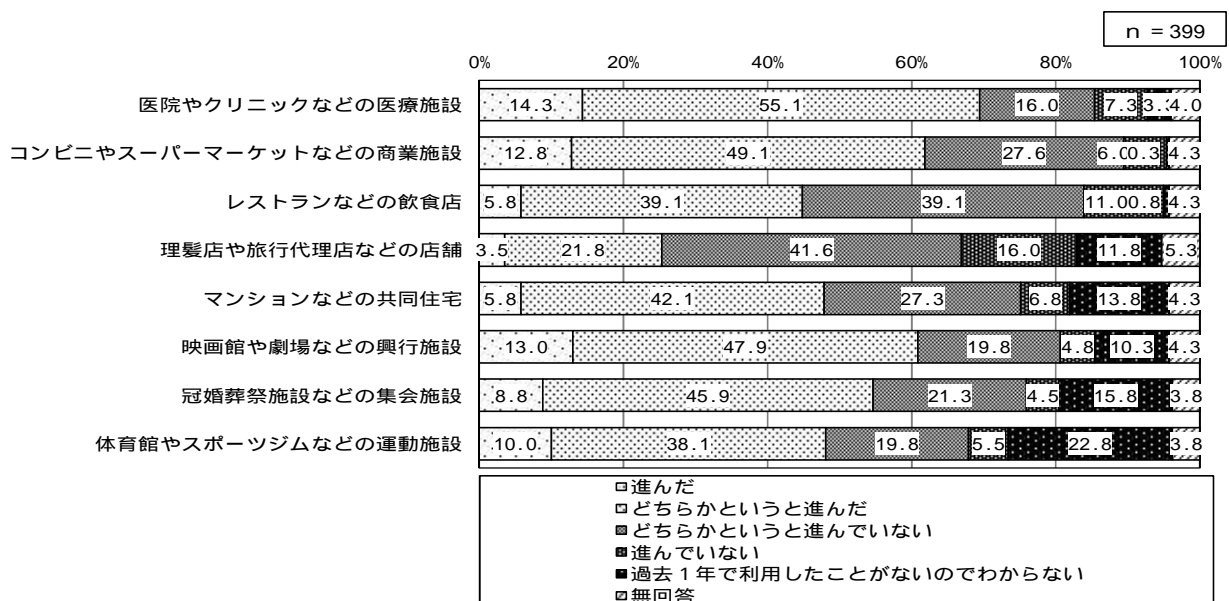
より安心して出かけられる公共施設になるために期待する設備や案内は、「エレベーターやスロープが目立つ場所にあり、見つけやすい」36.1%が最も高く、次いで「施設に行くまでの歩道などや施設の出入口に、段差や急な傾斜がない」33.1%、「駅前の案内地図などに、階段や段差のないルートが示されている」25.3%と続きます。



問 13 練馬区内の中規模・小規模の建物は、以前と比べて、高齢者や障害者、乳幼児を連れてきた方などにとって利用しやすいバリアフリー整備が進んだと感じますか。建物の種類ごとにお答えください。(各項目 は1つ)

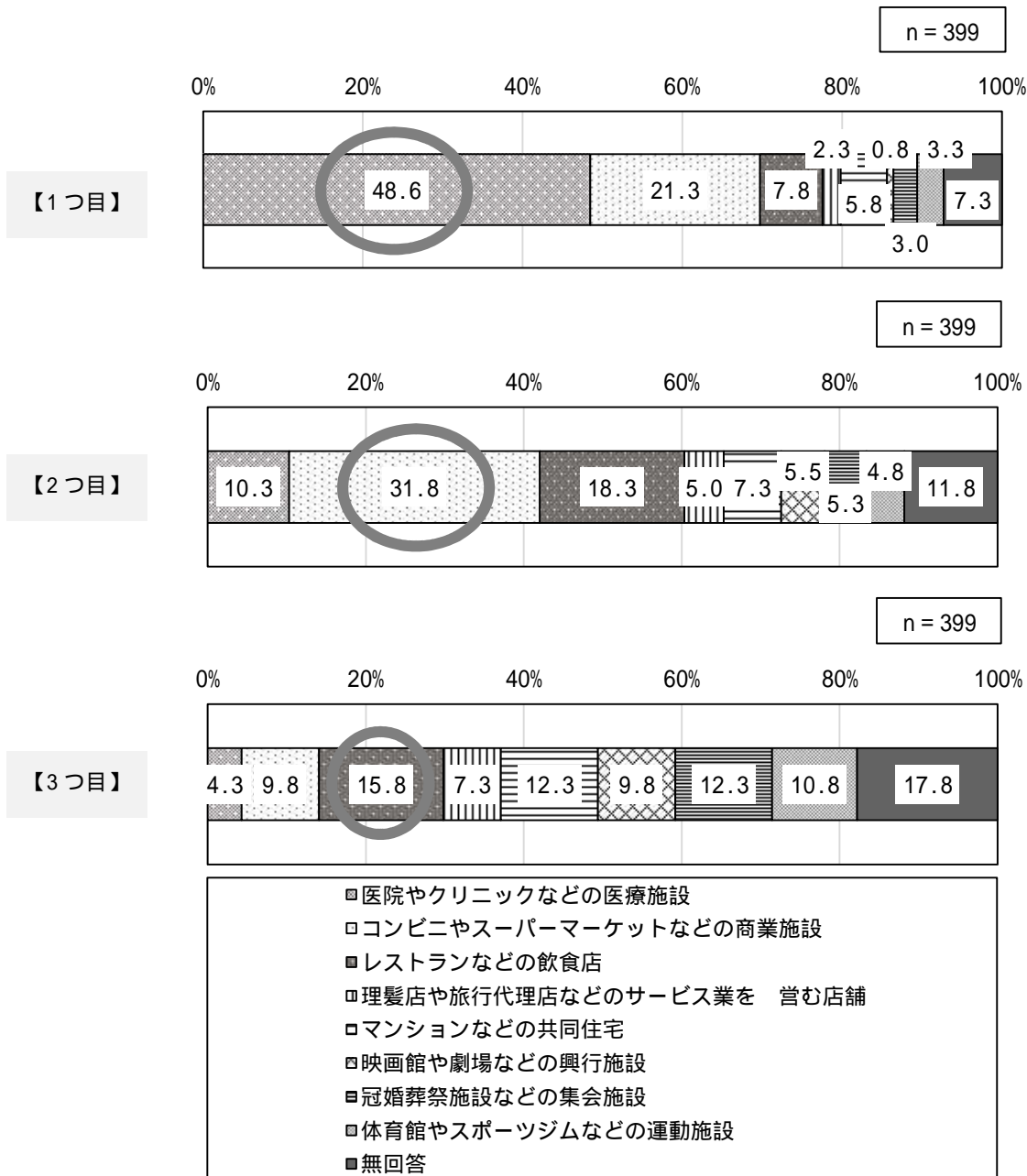
高齢者や障害者、乳幼児を連れてきた方などにとって利用しやすいバリアフリー整備が進んだと感じる練馬区内の中規模・小規模の建物について、『進んだ意識』(進んだ+どちらかというに進んだ)は「医院やクリニックなどの医療施設」が69.4%と最も高く、次いで「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」61.9%、「映画館や劇場などの興行施設」60.9%と続きます。

一方、『進んでいない意識』(進んでいない+どちらかというに進んでいない)は「理髪店や旅行代理店など店舗」が57.6%と最も高く、次いで「レストランなどの飲食店」50.1%と続きます。



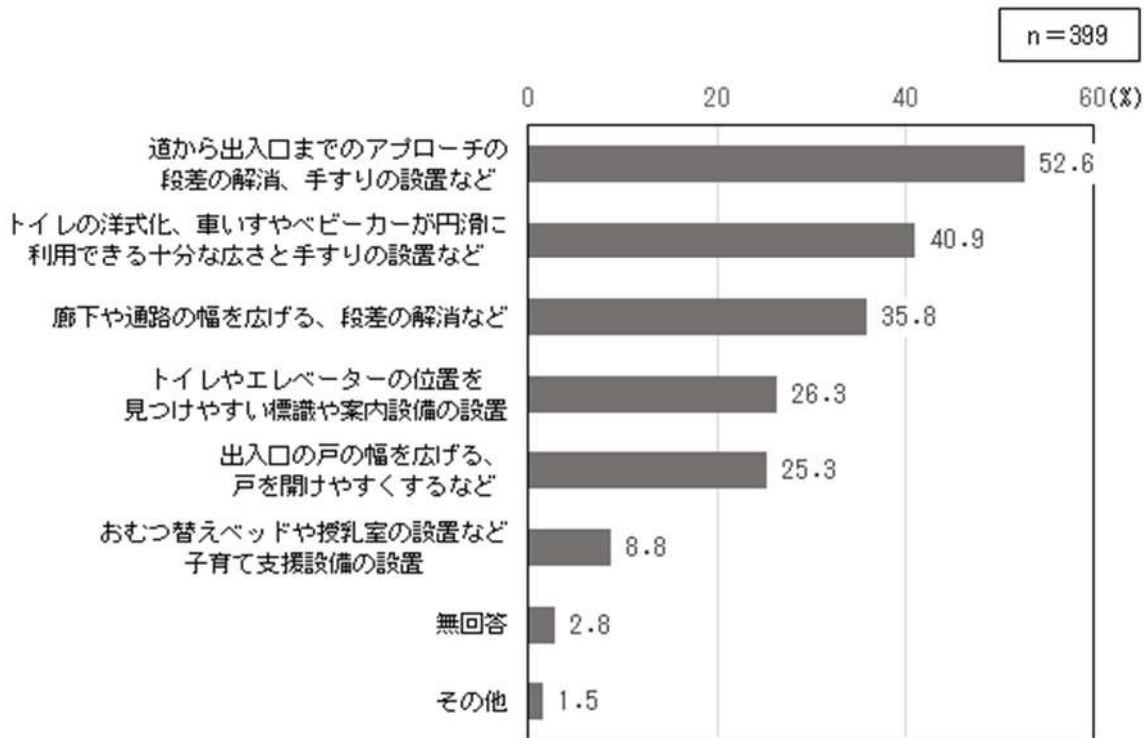
問 14 今後、段差の解消や手すりの設置、車いすやベビーカーで使いやすいトイレの設置などのバリアフリー化について、重点的に取り組むべきと思う区内の建物の種類を問 15 の 1～8 の項目の中から番号でお答えください。(3 つまで)

バリアフリー化について、重点的に取り組むべきと思う区内の建物の種類について、1 つ目は 48.6% の「医院やクリニックなどの医療施設」、2 つ目は 31.8% の「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」、3 つ目は 15.8% の「レストランなどの飲食店」がそれぞれ最も高くなっています(無回答以外の項目)。



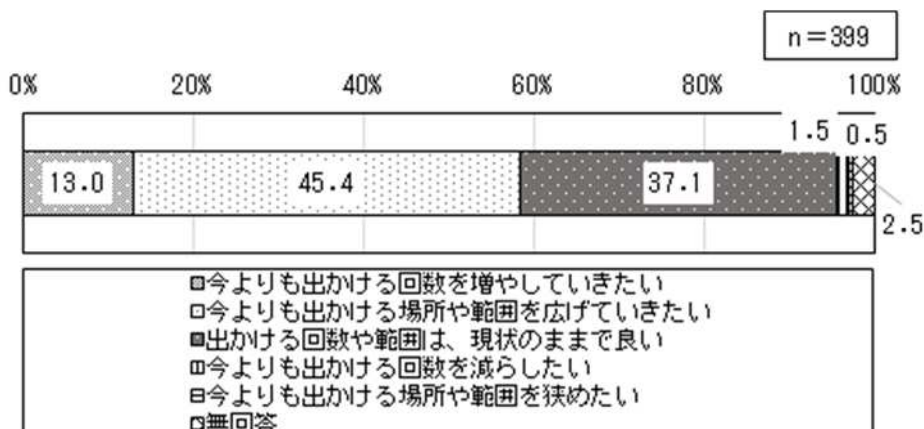
問 15 新しく大規模な建物に比べて、比較的小規模な既存の建物のバリアフリー化はなかなか進んでいません。高齢者、障害者、乳幼児を連れの方がより気軽に外出できるようにするために、既存の店舗などでは、どのような改善を優先的に進めるべきだと思いますか。下の図と写真を参考にお答えください。( は2つまで)

既存の店舗で優先的にバリアフリー化を進めるべきだと思うことについては、「道から出入口までのアプローチの段差の解消、手すりの設置など」52.6%が最も高く、次いで「トイレの洋式化、車いすやベビーカーが円滑に利用できる十分な広さと手すりの設置など」40.9%、「廊下や通路の幅を広げる、段差の解消など」35.8%と続きます。



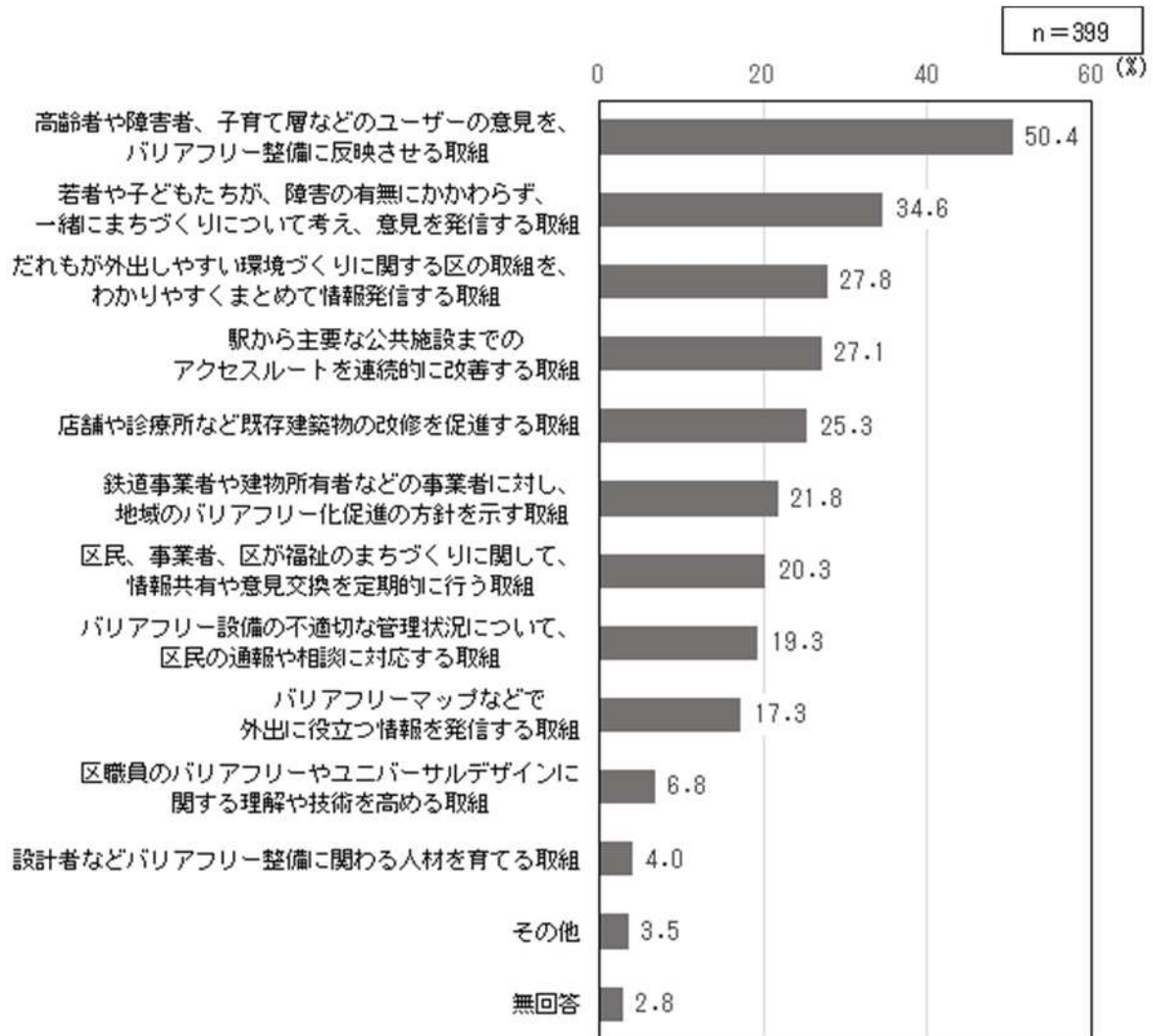
問 16 今後の外出の回数や行動範囲について、あなたの考えに近いものを選んでください。( は1つ)

今後の外出の回数や行動範囲については、「今よりも出かける場所や範囲を広げていきたい」45.4%が最も高く、次いで「出かける回数や範囲は、現状のままで良い」37.1%、「今よりも出かける回数を増やしていきたい」13.0%と続きます。



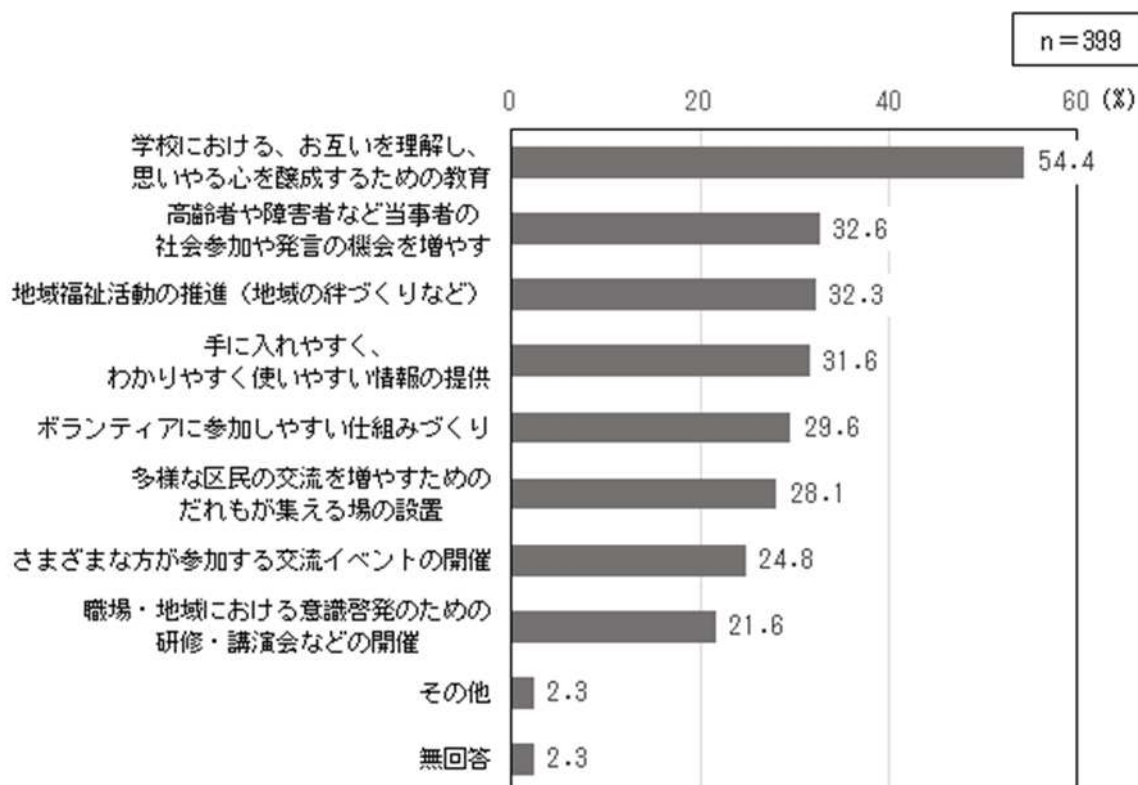
問 17 今後、練馬区内でだれもが外出しやすい環境づくりを進めていくためには、区はどのような取組を優先的に進めていくことが重要だと思いますか。( は3つまで)

だれもが外出しやすい環境づくりで重要な区取組は、「高齢者や障害者、子育て層などのユーザーの意見を、バリアフリー整備に反映させる取組」50.4%が最も高く、次いで「若者や子どもたちが、障害の有無にかかわらず、一緒にまちづくりについて考え、意見を発信する取組」34.6%、「だれもが外出しやすい環境づくりに関する区取組を、わかりやすくまとめて情報発信する取組」27.8%と続きます。



問 18 ソフト面における福祉のまちづくりを推進するためにはどのような取組が必要だと思いますか。( は3つまで)

福祉のまちづくりを推進するために必要なソフト面の取組は、「学校における、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育」54.4%が最も高く、次いで「高齢者や障害者など当事者の社会参加や発言の機会を増やす」32.6%、「地域福祉活動の推進（地域の絆づくりなど）」32.3%と続きます。



問 19 練馬区における地域福祉や福祉のまちづくりについて、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。(自由記述)

主に「心・教育」、「イベント・ボランティア」、「交通」、「道路整備」、「施設・建物」、「環境」、「行政・PR」等に関する意見が挙がっています。(省略)